議会だより のだ

2018
1/26
第142号

ホームページ　http://www.vill.noda.iwate.jp/
Ｅメール　gikai@vill.noda.iwate.jp

平成29年12月　第10回定例会

◎主な内容◎

・定例会の概要 …… ３ページ
・一般質問　５人が登壇 … ４～９ページ
・議案採決一覧表 …… 10ページ

表紙の写真：小正月行事

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

東日本大震災からまもなく7年を迎えます。都市公園や災害公営住宅など、ハード面の復興については概ね目途がたちましたが、心の復興や新たな地でのコミュニティの形成、生活支援など多くの課題が残っています。

本年も「復興完遂」に向け、議員一丸となって取り組んで参ります。

今年一年、「災害のない、事故のない、そして穏やかな年」となりますよう祈っております。

野田村議会議長　貳又　正人

第10回定例会

一般会計補正予算

4,157万円を増額

総額　47億1,782万円に

12月定例会は、12月５日から８日までの４日間行われました。村長提出議案は８件で、補正予算、条例改正などを審議し、全て原案通り可決しました。

一般会計補正予算は保育所運営費や復興道路事業など4,157万円となり、補正後の予算総額は47億1,782万円となりました。一般質問は５人が登壇し、村政全般に鋭く切り込みました。（４～９ページ）

◎一般会計補正予算の主な内容

○歳入○

事業名	金額
保育所運営費負担金	364万円
子どものための教育・保育給付費負担金（国庫・県支出金合計）	876万円
東日本大震災津波復興交付金基金繰入金	924万円
東日本大震災復興交付金	4,600万円

○歳出○

事業名	金額
むらづくり推進事業費補助金	60万円
保育所運営費	1,696万円
復興道路事業	1,200万円
観光施設等修繕経費	379万円
施設修繕経費	130万円
児童生徒医療費等助成事業	588万円

問　観光施設等修繕費379万円の内容は。

答　マリンローズパーク内のトイレに係る修繕費だ。凍結防止ヒーターを入れて冬季仕様にするものだ。

改修予定のトイレ

問　保育所運営費が増額になった理由は。

答　途中入所の児童に係る業務委託料と保育士処遇改善による賃金の引き上げが要因だ。

問　学校管理費内の施設修繕費130万円の内容は。

答　小学校体育館の用具室屋根等に係る修繕費だ。

◎その他の議案

※議案一覧は最終ページ

・野田村過疎地域自立促進計画を策定することに関し議決を求めること

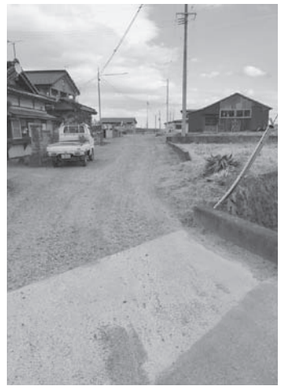
29年4月1日付で村が過疎地域に追加指定されたことから、計画を策定するもの。過疎債等を活用するには、過疎計画を策定しなければならず、対象となる事業については毎年度見直しを行います。過疎計画は、村の総合計画に登載されているものを前提として計画されています。

・生涯学習センター条例等の一部を改正する条例

土地区画整理法による換地処分の施行に伴い、生涯学習センター条例、村立図書館設置条例、保健センター条例を改正するもの。

・北区地区避難路新設工事の請負契約の締結に関し議決を求めること

北区地区避難路新設工事を施工するにあたって、株式会社晴山組と5130万円で請負契約を締結するもの。



避難路が新設される通路
（野田橋から国道方向）

◎村政を問う◎

～一般質問 5人が登壇～

○米田 徳一郎 議員 ・・・5ページ

－交流物産館等複合施設について－

その他の質問
- 津波犠牲者慰霊碑建立について
- 県北横断自動車専用道路について
- 平成30年度予算編成に向けた基本方針について

○古舘 幹男 議員 ・・・6ページ

－公衆トイレについて－

その他の質問
- 原木椎茸の種駒への助成について
- 自家水道について
- 道路等案内表示について

○山田 陽子 議員 ・・・7ページ

－地域活性化について－

その他の質問
- 都市公園事業について
- 久慈広域連合介護保険計画について
- トイレの環境整備について
- 「ホストタウン」について

○米田 忠一 議員 ・・・8ページ

－村内の消防水利について－

その他の質問
- バイオマス発電事業について
- 林業を脅かす病害虫の実態について
- 十府ヶ浦の砂浜の再生に関して
- 全国学力テストの結果に関して

○宇部 武典 議員 ・・・9ページ

－大震災大津波からの復旧・復興の取組みに関して－

その他の質問
- 国民健康保険事業の広域化に関して
- 第７期介護保険事業計画について
- 学校教育の問題に関して
- ごみの収集に関して
- 北朝鮮の弾道ミサイル発射問題とＪアラートの問題に関して

※本号掲載以外の質問に関しては村ＨＰをご覧ください
http://www.vill.noda.iwate.jp/

米田　徳一郎

村長　村内を回遊するきっかけとなる

交流物産施設は村の玄関口となるか

問　交流物産館等複合施設を村の玄関口とする根拠は。

村長　三陸沿岸道の完成とともに、利用者が国道45号から大きくシフトすることが想定されることから高速道路利用者を村内に呼び込む為の玄関口として、サービスエリア的な機能も併せ持つ施設をＩＣ（インターチェンジ）近傍に整備する必要があると判断した。

問　まちなか賑わい再生にどの様に結びつけるのか。

村長　ＩＣ近傍に整備することで村に降りるきっかけを作り、村内を経由させる導線作りが必要と考えており、三陸ジオパークや潮風トレイル、ワイナリーなど自然資源や観光資源、イベント開催などと連動させていきたい。

問　出店見込み事業者の把握はされているか。

村長　施設は観光物産館及び産直施設を合わせた規模で計画しているので現在の出店事業者をベースに、新規参入者についても模索していきたい。

生産者等との協議については、基本構想策定の際、関係団体から意見を伺っているが、今後、国庫補助申請など事業計画を進める段階で改めて意見を伺う。

交流物産館建設予定地付近のようす

津波犠牲者慰霊碑建立の取組み状況は

村長　建立については村が施工する

問　震災による犠牲者慰霊碑建立については、以前村が実行委員会から引き継ぎ、事業を進めると説明がされているが、その取り組み状況を把握されているか。

村長　事業費については全額村が寄付を受け工事を施工することとなっている。具体的な計画や構想については記念碑建立実行委員会が行うことになっている。記念碑建立に慰霊も含めた記念碑となるかも知れないが、村としては政教分離の問題もあり慰霊碑の建立に関わることはできない。

実行委員会、団体がどのように計画し記念碑を建立するのか又、寄付された方々の名前などについても残す形で検討している。

慰霊碑の建立予定場所（展望休憩施設前）

古舘　幹男

既存の公衆トイレの洋式化は

村長　必要性に応じ検討していく

問　村内の公衆トイレについて以前から和式の所があり、利用するのに、難儀になっていると聞いている。高齢者はもとより、現代の子供達は洋式の利用で育っている。現況を調査し、洋式化へ改良するべきでは。

村長　現在利用されているトイレのうち、和式便器しかないトイレは7ヶ所だが、中には利用者が限定的な地区農村公園が3か所ある。洋式化については、利用頻度や利用者の動向などの利用実態を注視しながら、必要性に応じて、検討して参りたい。

使用頻度に応じた改修が進められます
（玉川野営場内のトイレ）

問　様々なイベントを開催した場合には、村外から来た人も利用するが、現在の和式トイレを利用できない人もいる可能性がある。村に交流人口を増やすためにも、洋式化を進めるべきでは。

村長　各家庭でも洋式化が進んでいることは認識している。場所によってはトイレ同士の距離が近くにあり、利用されていない場所もある。管理経費も当然掛かってくることから、さらに情報収集しながら検討していきたい。

道路案内表示の整備は

村長　関係機関と協議し進めていく

問　道路案内表示の充実と外国語での案内表示等の整備を、道の駅構想に併せて整備する必要があると考えるが。

村長　今後交流事業等を進める場合には、国道、県道など道路管理者等の関係機関と協議しながら、道路等案内看板の表示の充実と併せ外国語表示についても検討していきたい。

分かりやすい標識の整備が必要です

問　初めて来た方は、標識がきちんとしていれば、安心でき、交流人口を増やすためにも整備は重要である。また、都市公園付近から市街地へ入る部分において、夜通ると目印になる部分が何もないので、夜間でもわかるような表示板を設置することはできないか。

村長　場所については今後も拾いだしながら、進めていきたい。また、国道45号から市街地への進入路については、分かりにくい部分があることは認識している。この整備は国道等との協議もあるので、この点も踏まえ検討をしていきたい。

山田　陽子

「のだむラジヲ」への継続支援は

村長　村内定着を期待し、活動を見守る

問　「のだむラジヲ」の継続は、これまでボランティア団体の支援等で維持されてきたが、この支援にも限度があり今後活動ができなくなる可能性がある。地域活性化と防災の観点から「のだむラジヲ」の存在は必須だが、村長はどのように捉えているのか。

村長　東日本大震災を契機に交流活動が継続しているが、村民主体の維持可能な活動へと発展し、村内に定着していく事は、住民主体のまちづくりを推進する上からも期待するもので、今後においても活動を見守っていく。

問　今の状況では、活動が停滞するのではと危惧するが。

村長　27年度に事業費を補助しており、色々な番組制作を行っていると伺っている。今後の継続方法も含めて、問題点を情報収集していく。

問　地域コミュニティの活性化と災害時の情報のツールとしてラジオの役割は大きい。官民一体で協働が発揮されなければ実現できないと考えるが。

村長　ほかの地域の「コミュニティラジオ」のような形にしていくためには莫大な資金投資が必要だと聞く。今後村がどのような支援ができるか意見交換等をしていく。

ラジオの放送ブースが入る「ねまーる」

都市公園のこれからは

村長　復興の象徴として利活用を促進

問　都市公園の完成で村民は復興を実感し、今後に明るい希望を抱いている。これからの利活用の具体例を伺う。

村長　震災からの復興の象徴とも言える場所の有効活用を促進するため、子ども達の遊び場、村民憩いの場としてだけでなく、スポーツや文化交流等、様々なイベントに利用できるよう適切な維持管理に努めていく。

問　現在建設中の三陸沿岸道路野田ＩＣに隣接した交流物産館複合施設の建設を構想しているようだが、都市公園の利活用も含めて、街の中心地や都市公園に可能な限り近い場所にこの施設がある方が村の活性化やまちなかの賑わい再生の創出につながり、各商店もこの物産館に参入することにより良好な繋がりが生まれてくると考える。今一度原点に戻って議論をする必要があると考えるが。

都市公園の有効活用が求められます

村長　更に検討していかなければならない部分はあるが、現段階では、ＩＣの降り口のそばに通行者から見える形で建設したほうが良いと考えている。今後も、ご意見等を伺いながら進めていきたい。

米田　忠一

防火水槽整備を進めるべきでは

村長　過疎債を導入し計画的に進める

問　久慈広域連合の28年度消防年報によれば、本村における消火栓、防火水槽などの消防水利の基準に対する充足率は、77・2％となっており、管内市町村で最低である。この現状をどのように認識しているか。

村長　消火栓は全部で103基あるが、150㎜以上の管に接続するという基準を満たしているのは17基しかない。また、防火水槽は84基中40㎥以上の基準を満たしているのは61基、合計で78基となっており、消防水利の整備を進め、基準の充足率を高める必要性は感じているところである。

問　消防水利のうち特に防火水槽の整備を計画的に進め、地域の安心度を高めるべきでは。

村長　消火栓については、水道管の敷設替えと合わせて整備するとともに防火水槽については、過疎債を導入し、計画的に整備することとしている。

村民の安全を守るため整備が進められます
（1月7日出初式のようす）

バイオマス発電の現状に対しての評価は

村長　本村を含め広域にも効果が波及している

問　バイオマス発電事業が本格操業してから1年余り経過し、当初計画に対しての現状などをどのように評価しているか。

村長　昨年9月から本格稼働しており、燃料調達から発電に至るまでほぼ順調に来ている。雇用の場ができたことで若者の定住につながっている。また、林地残材や樹皮などのほか台風の被災流木も利活用できたことや海外からの輸入燃料が久慈港に荷揚げするなど広域的にも波及効果が期待されている。

問　雇用面など大きなメリットをもたらしている一方で、森林の伐採強度が急激に進むことで、森林への悪影響を心配する声があるが。

村長　バイオマス発電所で取り扱う燃料のうち約4割が間伐材や森林経営計画の対象林で、計画に基づいた伐採で、森林資源への影響は少ないと認識している。また、野田バイオパワーJPでは、森林整備や人材育成に係る経費を助成するための基金を創設することで岩手県森連と協定を締結しており、来年度からその運用が始まると聞いている。

雇用等の面でも効果が広がっています

宇部　武典

生活再建支援金の今後は

村長　期間延長を要望する

問　被災者生活再建支援金の申請期限は、平成30年4月10日までは、再延長となっているが、その後は1年以内で延長できる。現時点での状況は。また、災害公営住宅の家賃の軽減策については、以前県の対応策に準じた低所得者向けの家賃減免措置を検討したいとのことであったが、その後どのようか。

村長　支援金の再延長については、県に対して要請をしており、現在も県と公益財団法人都道府県会館との間で協議が進められている。県と市町村が共同で実施している被災者住宅再建支援事業並びに再建住宅支援事業の実施期間は平成30年度までとなっているが、現在は事業継続の意向調査が行われている。村としては、災害公営住宅の払下げなど住宅再建が平成31年度以降にかかる被災者もいることから、実施期間の延長を要望していきたい。

さらなる期間の延長が望まれます
（写真は門前小路災害公営住宅）

軽減策については、原則として収入が一定額以下の場合は、収入に応じて減免する率を定め、軽減措置を講ずるよう取扱い要綱を制定し、低所得者に対する家賃の減免措置を実施するよう事務を取り進めている。

問　家賃の減免策は、県と同様のものか。また、実施時期は。

村長　県と同様のものである。実施時期は、平成30年度の実施を目標に進めている。

城内地区に街路灯の設置は

村長　単独での整備はない

問　区画整理した城内地区のシンボルロード近辺は、新たな村づくりの中心になる。村の責任において、防犯灯ではなく、街路灯設置がふさわしいと思う。発想の転換が求められているのではないか。

村長　区画整理事業で出来る範囲で施設設置してある。防犯灯については、地域づくり協議会の皆様と協議して実施したものだ。

問　地域づくり協議会とも協議を行ったとのことだが、人が集まるような形を作っていかなければならないのではないか。

村長　街路灯、防犯灯と言葉は違うが、明るい道路、明るい地域を作りたいというところは同じである。懇談会の際にも、暗い所があるので、明るくしてほしいという要望は全村から必ず出てくる。以前は地区毎で自分たちで建てたということもある。今後も整備方法については考えていきたいと思うが、現段階では単独でその地域だけをすべて整備するという考えにはいたっていない。

賑わい再生のためにも街路灯の設置が望まれます

10月臨時会・12月定例会議案一覧表

第10回臨時会・定例会提出議案は全員賛成
また、議長は採決に参加しない

会議	議案番号	議　案　内　容
臨時第10回	議案第１号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第５号）について ・・・衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行経費について予算措置をするもの。
第10回定例会	議案第１号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第６号） ・・・保育所運営費、復興道路事業及び児童生徒医療費等助成事業等について予算措置をするもの。
	議案第２号	平成29年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第１号） ・・・施設管理費に要する経費について予算措置をするもの。
	議案第３号	生涯学習センター条例等の一部を改正する条例 ・・・土地区画整理法による換地処分の施行に伴い、生涯学習センター・村立図書館・保健センターの条文中の住所を変更するもの。
	議案第４号	村民広場条例の一部を改正する条例 ・・・土地区画整理法による換地処分の施行に伴い、条文中の住所を変更するもの。
	議案第５号	野田村村営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ・・・土地区画整理法による換地処分の施行並びに旭町第２住宅及び泉沢住宅の建設に伴い、条文を改正するもの。
	議案第６号	北区地区避難路新設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて ・・・北区地区避難路新設工事の請負契約を締結するもの。
	議案第７号	村道路線の変更に関し議決を求めることについて ・・・道路法に基づき、村道路線を変更するもの。
	議案第８号	野田村過疎地域自立促進計画を策定することに関し議決を求めることについて ・・・過疎地域自立促進特別法に基づく計画を策定し、村の自立促進を図ろうとするもの。

◎ 議会の動き（９月～11月）◎

９月13日　ことぶき荘長寿を祝う会（ことぶき荘）・・・議長
９月15日　野田村敬老会（野田村体育館）・・・全議員
　　分署職員歓送迎会（えぼし荘）・・・議長
９月21日　村政調査会視察研修（群馬県ほか）・・・全議員
９月24日　久慈青年会議所50周年記念式典（久慈グランドホテル）・・・議長
９月25日　北部地区町村議会議長会　県選出国会議員への要望活動（東京都）・・・議長
９月26日　シルバースポーツ大会（野田村体育館）・・・全議員

10月４日　岩手県町村議会議長会第２回政務調査会（岩手県自治会館）・・・議長
10月６日　岩手県町村議会議長会委員長研修会（岩手県自治会館）・・・古舘・八幡・米田(徳)
10月11～14日　北部地区町村議会議長会視察研修（熊本県ほか）・・・議長・副議長
10月17～19日　岩手県町村議会議長会視察研修（香川県）・・・議長
10月18日　八戸・久慈自動車道整備促進住民大会（アンバーホール）・・・全議員
10月20日　岩手県建設業協会青年部連絡協議会交流会（久慈グランドホテル）・・・副議長
10月22日　前浜地区防潮林再生記念植樹（野田村）・・・全議員
10月28日　岩手県沿岸市町村女性議員ネットワーク設立総会（宮古市）・・・副議長
10月31日　第68回全国漁港漁場大会（岩手県民会館）・・・議長
11月９～10日　岩手県町村議会議長会広報担当者研修会（花巻市）
　　・・・岩岡・八幡・米田(忠)・中川

11月19日　三陸沿岸道路山田宮古道路開通式典（宮古市）・・・副議長
11月20日　地方自治法70周年記念式典（東京都）・・・議長
11月21～22日　町村議会議長会全国大会（東京都）・・・議長・副議長
11月24日　久慈地区市町村議会連絡協議会研修会（えぼし荘）・・・全議員
11月28日　一戸町60周年記念式典（一戸町コミュニティセンター）・・・議長

久慈地区市町村議会連絡
協議会研修会のようす（11月24日）

あとがき

大寒に入り、１年の内最も寒い時季です。編集委員が交代となり、今回で２号目となります。読みやすい、見やすい紙面づくりを心がけているつもりですが、なかなか思うにまかせません。皆様からのご意見をお待ちしております。　（米田(忠)）

表紙の写真

１月15日に村民広場で小正月行事が行われました。写真は、保育園児が思いを書いた短冊と餅花を飾るようすです。短冊に書いてあるとおり、今年１年皆様が笑顔いっぱいで過ごせるとよいですね。

議会だより のだ　第 142 号　平成30年１月26日　発行
発行責任者：野田村議会　議長　貳又正人　　編集：野田村議会広報編集委員会
〒028－8201　岩手県野田村大字野田 20－14
☎：0194－78－2934　FAX：0194－78－3995